## 令和5年度

## 【子供たちは、私たちの生き方を見ています】

- 1 私たちは、子供を守り、育てます。
- 2 私たちは、法令等を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 私たちは、加計中学校教育への信頼を裏切りません。

## 不祥事根絶のための行動計画

## 安芸太田町立加計中学校

区分	本校の課題	行動目標	取組內容	点検方法・時期
<ul><li>○教職員の規範意識の確立</li></ul>	(強い当事者意識を持ち、生き方を示す教職員) ○危機管理意識・改善意識を強め、教職員 の規範意識を更に高める。 (管理職主導からの教職員主体へ) ○全教職員による不祥事防止や服務規律に 関する情報伝達や資料提供を行う。	<ul><li>○常に、法令・ルール順守、社会貢献等の 意識を持つ教職員として行動する。</li><li>○全教職員が不祥事防止や危機管理を自己 課題とし、不祥事・服務違反は絶対に起 こさない。</li></ul>	<ul> <li>○学年部や分掌部の単位で、服務・不祥事防止研修を主管し、校内研修の内容企画・研修実施・評価・取組のHP等への発信に取り組む。</li> <li>○県教委HP、文科省HP、新開等の閲覧の習慣化と関連情報・記事等の紹介、校内の気になる事業の提起に率先して取り組む。</li> <li>(主体的な不祥事防止の推進、研修の促進)</li> </ul>	<ul> <li>○学期・・1回</li> <li>服務・不祥事防止チェックリスト等による自己点検の実施</li> <li>○服務・不祥事防止研修後アンケート等による意識・・態度(変容)の把握</li> </ul>
〇学校組織としての 不祥事防止体制の 確立	<ul> <li>(不祥事防止の成果の検証と評価)</li> <li>○不祥事防止委員会を定期実施するとともに、校内外へ取組内容を発信する。</li> <li>(同僚性・協働性による不祥事根絶)</li> <li>○教職員間の円滑なコミュニケーションの職成、報告・連絡・相談を徹底する。</li> </ul>	○実態把握を確実に行い、不祥事を未然に 防止する。	〈不祥事防止委員会が中心となった承組〉 ○日常的に、生徒や教職員の様子や仕事の進捗 状況の把握、情報共有に取り組起。 ○職員への声掛けやサポートを行い、仕事や悩みを一人で抱え込まない職員室環境(風土)・協働体制づくりに取り組起。	○月…1回 不祥事防止委員会での 情報交換・対応策検討 の実施 (※必要に応じ、随例) ○学期…1回 全教職員対象の管理職 而談の実施 (※必要に応じ、随例)
〇相談体制の充実	(窓口の積極的な働きかけ) ○「体罰、セジュアル・ハラスメハ相談窓口」機能 の発揮、組織的な教育相談の指進を図る。 (生徒の心の声を聴く教職員) ○ホスピタリティの視点に基づく教育相談 を実施する。	<ul> <li>○生徒が教職員に相談しやすい環境(信頼の確立)をつくる。</li> <li>…「体罰セクハラ相談の口」の原別の徹底。</li> <li>…事業に対する経験的な教育相談の疾病</li> <li>○生徒と教職員、保護者と教職員との良好な信頼関係を構築する。</li> </ul>	○校舎内の全教室へのポスター掲示、HPや学校 通信等で、窓口周知の徹底に取り組む。 ○生徒情報・実態・心情等の把握に取り組む。 ①生徒の言動や生活ノート等の記述からサインを 読み取る。 ②問題を全体で共有し、サポート委員会を中心に 問題解決に超越的に取り組む。 ③定期的な教育相談に取り組む。 ④本だり行(傾聴・共感・質問・支援)の視点や 相手意識を持ち、生徒との信頼関係を強励にする。	○学期・・1回実施 生徒・保護者・教職員対象 生活アンケート実施 (学校評価アンケート) 結果・・通信・HP等で公表 ○学期・・2回 生徒面談の実施 (※必要ご向じ、随時)